

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年5月31日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100243
法人名	社会福祉法人 真奉会
事業所名	グループホーム あもり
所在地	鹿児島県霧島市隼人町内2075番地2 (電話) 0995-43-8700
自己評価作成日	平成25年3月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成25年3月29日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームあもりは、霧島市隼人町の高台にあり、遠くに霧島連山を仰ぐ自然豊かな中にあります。同じ法人運営による障がい者施設が隣接しており、年に数回は行事等にて交流を図ったり、グループホームの草刈りや掃除等を行ってもらったりしております。天気の良い時はドライブに出かけたり、屋外でお茶を飲んだり、といった楽しみもあり、利用者様の中には四季の移り変わりによる風景の変化や、飛来する飛行機を眺めて過ごすことを楽しまれる方もおられます。また、年6回の運営推進会議や、定期的な清掃活動への参加などを通して地域との交流を図っております。当ホームでは、長年、生活をされている利用者様も多く、最後まで見ていただきたいというご意見もいただいております。私たちはご家族の皆様からいろいろなご意見をいただきながら、利用者様ご本人、ご家族、そして職員みんなでゆとりある穏やかな生活を送ることができるよう、日々努力をしております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○豊かな自然に囲まれた高台に建てられており、四季折々の景色を楽しむことが出来る。広い敷地と広い道路に接しているため、車を利用しての外部からの面会や会議等の参加に利便性がよい。

○同じ法人経営の障害者施設「ワークショップはやと」が隣接しており、グループホームの庭掃除や草取り等をしてもらうことで利用者側も生き生きと働いている様子を直接見ることが出来て、交流も成り立っている。

○地域的に温泉施設に恵まれており、家族の協力をもらいながらそのような施設に出かけ、温泉や外食を楽しんでいる。

○周囲の民家とは地理的に離れており、自治会には加入出来ていないが、地域の掃除や草刈等に参加して交流に努めている。また、自治会長がとても協力的であるので今後、避難訓練の協力や認知症に対する理解を得るための機会を地域に積極的に呼びかけていくことにしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	介護理念をホール内に常に掲示し、共有し、実践を目指している。	理念は、リーフレットや室内の掲示に分かりやすく大きく表示しており、職員会議等で共有するよう努力している。今後さらに、掲げた理念についてスタッフ一人ひとりが具体的にケアに生かせるような取り組みをしたいと思っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の清掃活動に職員が参加しており、一定の交流ができています。	自治会には未加入であるが、民生委員が自治会長を兼ねており、運営推進会議等に参加、協力を頂いている。また、施設職員は地域の清掃や草刈等に積極的に参加して交流をはかっている。今後、隔月発行している「あもり便り」をリニューアルして、家族や地域住民に配布予定である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	今後、霧島市の「地域のひろば」事業やその他行事などを通して、地域への貢献を果たしたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	過去の運営推進会議において、職員の顔写真の入ったパネルを用意してほしいとのご家族からの意見があり、実行した。	2ヶ月毎に開催の会議は利用者、家族、市の担当者、民生委員等の参加があり意見、要望も活発に出され、業務改善やサービス向上に活かされている。前回要望のあった職員の顔写真入りのパネルも早速導入し、家族等の安心につながっている。また、外部評価の結果も随時報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議に霧島市本署、隼人支所の担当者を招き、参加していただいている。	定期的に運営推進会議に出席してもらう一方、市主催のグループホーム連絡会議、地域密着型連絡会議に参加し、施設の運営やケアについて情報交換し助言をもらうなど協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月の全体ミーティングにおいて、身体拘束の有無を確認し、また、ガイドラインを皆で確認している。各棟の玄関は夜間など必要時以外は施錠せず、利用者様は基本的に自由に出入りが可能である。	「全体ミーティング」の記録簿では、身体拘束をしない取り組みのについて繰り返し話し合いが行われて実践されていることが確認できる。特に、現在まで拘束の事例はないが、外出希望の利用者がおられ、気持ちが安定するまで職員が見守り同行している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の全体ミーティング時や、必要時において身体的、精神的な虐待について確認、呼びかけおよび勉強会などを行い、注意喚起を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会などを通して、権利擁護および制度について理解を深めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時、退去時等必要時には十分な説明を行い、ご理解の上納得を得られるように図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議にご家族様の代表者に参加していただき、ご要望、ご意見などをうかがい、改善が必要な点については対応するようにしている。	運営推進会議の家族の参加は、固定せずに都合のつく方に出席頂き、意見・要望等を出してもらっている。入所時のアセスメントや面会時等にもお話を伺い、随時必要な対応を行っている。家族会を年1回開催しており、ご家族の約7割の参加があり十分に意見交換ができています。また、意見箱は設置しているが利用は少ない現状である。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	現在、特に機会を設けて意見や提案を聞く機会はないが、ミーティング時のほか、管理者から職員へ意見を求めるなどのコミュニケーションを常にとるよう心がけている。	年2回の個人面接があり、要望・意見を述べる機会があるほか、日々のケアを進める中で随時、意見交換がなされている。管理者は従事して1年目であるが、職員とのコミュニケーションを心がけ、よりよい職場環境にしたいという意欲が感じられる。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	平成24年度より、法人全体で独自の人事考課制度が開始され、各個人の評価を濃密に行うようになっている。また、法人においても処遇改善のための会議を常に持っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得を奨励している。また、研修情報があれば常に職員に開示し、積極的な参加を呼び掛けている。業務内においても問題点があればその都度指摘するなどして、レベルアップを図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>霧島市の地域密着型サービス事業所連合会等の研修会等に職員を派遣することにより、ネットワークづくり等に励んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居のご相談があった時等、十分な説明や見学を行ってもらい、また、入居後も心身の変化に配慮しつつ、本人との関係づくりを図っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	上記と同様、見学や説明を通して関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前の情報等を含め、福祉用具や医療ニーズなど、必要なサービスの導入を検討し、主治医や事業所などと調整を行い、必要時には導入できるよう支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	可能な方には、日常生活の中で必要な家事（お皿洗い、調理の一部、洗濯ものたたみ等）に取り組んでもらえるよう声掛けを行っている。また、必要とされるケアについては、本人の納得が得られるように複数回をおかけするなどの配慮を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族来訪時には、日ごろの様子をお伝えする等、必要な対応を行うが、利用者様との時間が大切と考え、必要時、ご希望時等には居室等にてご家族同士で過ごしていただく等配慮を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族等の来訪が定期的に行われるよう、来訪時に最近の本人の様子を伝えたり、定期的な来訪いただくことでご本人が落ち着く事を説明し、なるべく来ていただけるように勤めている。	家族、友人の面会は多く、ホームの生活の様子を詳しく伝えている。理美容は馴染みの人に2ヶ月毎に来て頂いており、墓参りや知人宅の訪問等は家族の協力も仰ぎながら実施し、お盆・正月には外出・外泊の機会をもうけている。また、「あもり便り」をリニューアルし面会の少ない遠方の家族にも送付することになっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間の関係性をよく把握し、昼食時や日中の席順等には気を配っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了となった利用者のフォローについては、必要時に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常に、ご本人のご意向を踏まえたケアを行うようにしている。本人の意向が直接聴き取り難しい場合でも、仕草や言動などからご本人の意向を考え、ケアに取り入れられるように考えている。	概要は「看護情報提供書」、「入院時の状況」により把握、共有し、日常のケアを通して声かけや表情から利用者の気持ちを確認している。今後さらに生活歴等から趣味や得意分野を把握してケアに生かすことを検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス利用が長期となっている利用者が多く、施設内での生活を軸とした生活になってきている。生活歴の把握等をもう一度考えて行きたい。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々変化する利用者様の状態に合わせ、ケアの方法を必要に応じて検討している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のケア会議において利用者様の状態について確認し、ケアの方法を検討、統一を図っている。また、主治医やご家族様とも必要に応じて検討を行っている。	往診による指示録、毎月の支援経過の記録、モニタリング記録表により、家族、主治医を含むチームで介護計画の作成が行われている、毎月または3ヶ月毎にモニタリングも実施されており、確認のため全職員が押印して情報を共有している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録については、画一的な文言になりがちであるため、本人の言動等についてもっと詳しく記録するよう、管理者、主任や先輩職員等が喚起を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者個別の趣向や、行動に対して柔軟に対応するように心がけている。しかし、現状においては柔軟性や多機能化、新たなサービスの創出といった面においてやや劣る。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	福祉用具の自費サービスや、利用者個別の心身の状態に合わせた導入を行っている。また、介護相談員等によるボランティア受け入れや近所への買い物に付き添う等の支援をおこなっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月1回の定期受診及び処方を受けている。また、必要に応じて往診を行っていただいている。主治医や歯科医師については入居前に説明をおこなっており同意を得ている。	協力医療機関は3箇所となっているが、主に近くの無床の医院をかかりつけ医として往診または受診を支援し、入院が必要な場合には協力医療機関等と連携をとっている。必要時には家族の同伴の協力をもらい結果の報告は直ちに行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	必要に応じて看護師に助言を求める等行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後の状態について情報収集を行ったり、退院の時期等について病院関係者やご家族と協議や相談に応じる等行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期の介護については、年に1回の家族会の中で説明を行っている。また、終末期の介護を行う必要が生じた場合には主治医からの状態説明を行ってもらい、グループホームでできる介護についても説明の上納得が得られた場合に最後までお看取りするという方針である。	「看取りの指針」に添って、契約時に説明し同意を得ており、また、家族会の中でも説明している。必要性が生じた場合、主治医から家族が説明を受けて納得の上で看取りの方向に決定していくという方針をとっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会等を開いて、緊急時の通報体制や蘇生法等について学んでいる。新人職員等もあつたため、救急隊を招いての実践的な勉強会を開催する等して備えておきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	先日の火災事故を受け、当方でも訓練のあり方を皆で検討した。これまでは、日中、台所火災を想定した避難訓練が主であり、夜間の体制時、火元が別な場合の想定を今後していく必要があると感じられた。地域については、公民館長への連絡を許可していただいております、地域の放送で協力を得られるようになる予定である。	2棟共に平屋建てで避難の誘導は可能ではあるが、介護度の重い利用者の誘導は時間を要する等困難さを体験している。さらに、訓練を積むと共に、自治会長の力添えをもらい、近隣の住民の協力が得られるように、積極的な働きかけを検討している。スプリンクラーを設置しており、備蓄は2、3日分の水、インスタントの食料などを確保している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お声かけや居室へ入る時のマナー等を気をつけるように指導している。特に言葉の内容や声のトーン等によって利用者の状態変化に繋がらないように気をつけている。	1棟と2棟の全体ミーティングで倫理、プライバシーの確保、虐待の予防、尊厳の認識等確認しあっている。声かけ、言葉使い等で気づいた点は個別的またはミーティングで改善に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者とのコミュニケーションの中でご本人の思いや意向を受け止めるようにし、可能な限り対応できるように意識している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者お一人毎のペースを尊重し、職員が過剰に促しを行ってしまわないように心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節にあった服装をご家族に用意していただく等行っている。ご自身で着替えや整容をされる方もあり、問題が無ければ特に口出し等は行わない。また、外出時に美容院等に行かれる利用者もある。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者毎の食事の嗜好等に合わせた食事の提供を行っている。「検食簿」を用いて似通ったメニューにならないよう配慮している。下膳や皿洗い、簡単な調理等を手伝ってもらい、食事の楽しみとなれば、と考えている。	個々の食事の嗜好について調理室に貼ってあり希望をかなえている。花見、敬老会、おせち等の行事食や、ちまき、ふかし芋等手作りのおやつも提供され、またソーメン流しに出かけたり、温泉に入った後食事を楽しむ等の工夫がなされている。日常の食事の準備、下膳は出来る範囲で参加できている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスについては食事を用意する職員にゆだねられている状態である。食事量については多すぎないように気をつけている。水分量は1日あたり1000mlを目処に、また夜間帯でもコップ1杯程度の水分摂取を心がけている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者個別の状態に合わせた口腔ケアを行っている。セルフケアが問題なく行えるかたもいれば、全く出来ない方もあり、ある程度の声かけがあれば出来る方もおられる。口腔内の残さが残らないように心がけている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者個別に、尿量や失禁の頻度、状況等を把握し情報共有することで、オムツの使用方法を日常的に検討し、場合に寄っては使用しない、という選択も行っている。	バイタルチェック欄に時間、回数の記載があり昼間はトイレ誘導に取り組んでいる。夜間はオムツ、リハビリパンツ、ポータブルトイレを使用する利用者も見られる。全トイレにウォシュレットが設置してある。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々のチェックの中で排便の頻度が少なくなりがちな利用者様を中心に声かけや服薬の検討等を行い、便秘の改善に努めている。また、便秘に良いとの事で、寒天ゼリーを一日一回は召し上がってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	夜間等の対応は配置している職員の関係から困難であるが、日中は毎日浴室を準備し、入浴していただくこととしている。	時間帯は主に午前中に設けているが、利用者の希望は受け入れている。入浴拒否者に対しては、清潔保持のためタイミングをみての声かけや説得で、無理のない入浴支援を心がけている。また、シャンプー、石鹸等の好みに対応し、温泉にもでかけている。次年度、安全、健康管理のためシャワーキャリーの導入を考えている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午後の1～2時間程度のお昼寝の時間をもうけるようにしている。また、ご希望があればいつでも居室に戻って横になることが可能である。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の内容についてはケアマネジャーが担当して把握に勤めている。副作用等がある場合には必要時に職員に対して周知している。内容が変更になった場合や、ご本人の状態変化時等、主治医等へ相談や指示をあおいでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	新聞を読まれたり、必ず洗濯もののたたみを行っていただく利用者様もおられる。また、食器洗いを行ってくださる方もある。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	毎月、行事の中で外出による気分転換を取り入れている。最近あまり外出に行けていない面もあるが、なるべくドライブを行って楽しみを増やして行きたい。また、地域の方々の協力を得て、立ち寄れる場所が出来ないか検討中である。	年中行事の外出に加え、季節の移り変わりを感じられるように、ワゴン車や軽自動車を活用して、もみじ狩り、ぶどう狩り等ドライブにでかけたり、庭のベンチやウッドデッキで日光浴、外気浴を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	物への執着がある利用者もあり、トラブルの元にならないように気をつけているため、基本は施設にて管理している。買い物のご希望がある際にはご本人が使用出来る。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	ご本人からこれらのご希望が上がる場合が殆どであるが、これらは希望があればいつでも使用可能である。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	朝を中心に、日中の掃除を毎日行う事で生活空間の掃除、清潔保持には気を配り、利用者様のストレスの元にならないように配慮している。	共用空間は天井が高く風通しがよい造りである。利用者が自由に行き来できる十分な広さがあり、日中、イスやソファに自由に腰掛け、居心地よくくつろぐ事が出来る。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	利用者同士の関連性を把握し、自由にすごしていただく事ができるように配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人の慣れた家具や、場合に寄ってはご位牌を持ち込まれている方もおられる。また、居室内の環境にも気を使い、定期的に寝具の洗濯等も行っている。</p>	<p>ベッドやタンス等の家具、寝具は使い慣れたものを使用している。利用者の生活歴を大事にした思い出の品々も自由に持ち込まれる一方、グループホームにおける生活の様子がわかるように数多くの写真が壁に貼ってあり、家族の安心に繋がっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>はり紙や表札の掲示を行い、場所のお知らせしている。段差は殆ど無く、ホール内、トイレ、浴室等には手すりの設置を行う事で安全性にも配慮している。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	介護理念をホール内に常に掲示し、共有し、実践を目指している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の清掃活動に職員が参加しており、一定の交流ができています。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	今後、霧島市の「地域のひろば」事業やその他行事などを通して、地域への貢献を果たしたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	過去の運営推進会議において、職員の顔写真の入ったパネルを用意してほしいとのご家族からの意見があり、実行した。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議に霧島市本署、隼人支所の担当者を招き、参加していただいている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月の全体ミーティングにおいて、身体拘束の有無を確認し、また、ガイドラインを皆で確認している。各棟の玄関は夜間など必要時以外は施錠せず、利用者様は基本的に自由に出入りが可能である。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の全体ミーティング時や、必要時において身体的、精神的な虐待について確認、呼びかけおよび勉強会などを行い、注意喚起を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会などを通して、権利擁護および制度について理解を深めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時、退去時等必要時には十分な説明を行い、ご理解の上納得を得られるように図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議にご家族様の代表者に参加していただき、ご要望、ご意見などをうかがい、改善が必要な点については対応するようにしている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎年、法人内において処遇改善会議が行われている。それに合わせて、職員の意見や提案を聞いている。		
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	平成24年度より、法人全体で独自の人事考課制度が開始され、各個人の評価を濃密に行うようになっている。また、法人においても処遇改善のための会議を常に持っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得を奨励している。また、研修情報があれば常に職員に開示し、積極的な参加を呼び掛けている。業務内においても問題点があればその都度指摘するなどして、レベルアップを図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>霧島市の地域密着型サービス事業所連合会等の研修会等に職員を派遣することにより、ネットワークづくり等に励んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居のご相談があった時等、十分な説明や見学を行ってもらい、また、入居後も心身の変化に配慮しつつ、本人との関係づくりを図っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	上記と同様、見学や説明を通して関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前の情報等を含め、福祉用具や医療ニーズなど、必要なサービスの導入を検討し、主治医や事業所などと調整を行い、必要時には導入できるよう支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	可能な方には、日常生活の中で必要な家事（お皿洗い、調理の一部、洗濯ものたたみ等）に取り組んでもらえるよう声掛けを行っている。また、必要とされるケアについては、本人の納得が得られるように複数回声をおかけするなどの配慮を行っている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族来訪時には、日ごろの様子をお伝えする等、必要な対応を行うが、利用者様との時間が大切と考え、必要時、ご希望時等には居室等にてご家族同士で過ごしていただく等配慮を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族等の来訪が定期的に行われるよう、来訪時に最近の本人の様子を伝えたり、定期的な来訪いただくことでご本人が落ち着く事を説明し、なるべく来ていただけるように努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間の関係性をよく把握し、昼食時や日中の席順等には気を配っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了となった利用者のフォローについては、必要時に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常に、ご本人のご意向を踏まえたケアを行うようにしている。本人の意向が直接聴き取り難しい場合でも、仕草や言動などからご本人の意向を考え、ケアに取り入れられるように考えている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス利用が長期となっている利用者が多く、施設内での生活を軸とした生活になってきている。生活歴の把握等をもう一度考えて行きたい。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々変化する利用者様の状態に合わせ、ケアの方法を必要に応じて検討している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のケア会議において利用者様の状態について確認し、ケアの方法を検討、統一を図っている。また、主治医やご家族様とも必要に応じて検討を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録については、画一的な文言になりがちであるため、本人の言動等についてもっと詳しく記録するよう、管理者、主任や先輩職員等が喚起を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者個別の趣向や、行動に対して柔軟に対応するように心がけている。しかし、現状においては柔軟性や多機能化、新たなサービスの創出といった面においてやや劣る。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	福祉用具の自費サービスや、利用者個別の心身の状態に合わせた導入を行っている。また、介護相談員等によるボランティア受け入れや近所への買い物に付き添う等の支援をおこなっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月1回の定期受診及び処方を受けている。また、必要に応じて往診を行っていただいている。主治医や歯科医師については入居前に説明をおこなっており同意を得ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	必要に応じて法人内や主治医医療機関の看護師に助言を求める等行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後の状態について情報収集を行ったり、退院の時期等について病院関係者やご家族と協議や相談に応じる等行っている。 Ⅱ棟目においては過去1年間、入院された方はおられなかった。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期の介護については、年に1回の家族会の中で説明を行っている。また、終末期の介護を行う必要が生じた場合には主治医からの状態説明を行ってもらい、グループホームでできる介護についても説明の上納得が得られた場合に最後までお看取りするという方針である。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会等を開いて、緊急時の通報体制や蘇生法等について学んでいる。新人職員等もあつたため、救急隊を招いての実践的な勉強会を開催する等して備えておきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>先日の火災事故を受け、当方でも訓練のあり方を皆で検討した。これまでは、日中、台所火災を想定した避難訓練が主であり、夜間の体制時、火元が別な場合の想定を今後していく必要性があると感じられた。地域については、公民館長への連絡を許可していただいております、地域の放送で協力を得られるようになる予定である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お声かけや居室へ入る時のマナー等を気をつけるように指導している。特に言葉の内容や声のトーン等によって利用者の状態変化に繋がらないように気をつけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者とのコミュニケーションの中でご本人の思いや意向を受け止めるようにし、可能な限り対応できるように意識している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者お一人毎のペースを尊重し、職員が過剰に促しを行ってしまわないように心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節にあった服装をご家族に用意していただく等行っている。ご自身で着替えや整容をされる方もあり、問題が無ければ特に口出し等を行わない。また、外出時に美容院等に行かれる利用者もある。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者毎の食事の嗜好等に合わせた食事の提供を行っている。「検食簿」を用いて似通ったメニューにならないよう配慮している。下膳や皿洗い、簡単な調理等を手伝ってもらい、食事の楽しみとなれば、と考えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスについては食事を用意する職員にゆだねられている状態である。食事量については多すぎないように気をつけている。水分量は1日あたり1000mlを目処に、また夜間帯でもコップ1杯程度の水分摂取を心がけている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者個別の状態に合わせた口腔ケアを行っている。セルフケアが問題なく行えるかたもいれば、全く出来ない方もあり、ある程度の声かけがあれば出来る方もおられる。口腔内の残さが残らないように心がけている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者個別に、尿量や失禁の頻度、状況等を把握し情報共有することで、オムツの使用方法を日常的に検討し、場合に寄っては使用しない、という選択も行っている。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々のチェックの中で排便の頻度が少なくなりがちな利用者様を中心に声かけや服薬の検討等を行い、便秘の改善に努めている。また、便秘に良いとの事で、寒天ゼリーを一日一回は召し上がってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	夜間等の対応は配置している職員の関係から困難であるが、日中は毎日浴室を準備し、入浴していただくこととしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様のご希望に応じて日中でも居室に戻って休んでいただくことができる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の内容についてはケアマネージャーが担当して把握に勤めている。副作用等がある場合には必要時に職員に対して周知している。内容が変更になった場合や、ご本人の状態変化時等、主治医等へ相談や指示をあおいでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	新聞を読まれたり、必ず洗濯もののたたみを行っていただく利用者様もおられる。また、食器洗いを行ってくださる方もある。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	毎月、行事の中で外出による気分転換を取り入れている。最近あまり外出に行けていない面もあるが、なるべくドライブを行って楽しみを増やして行きたい。また、地域の方々の協力を得て、立ち寄れる場所が出来ないか検討中である。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>物への執着がある利用者もあり、トラブルの元にならないように気をつけているため、基本は施設にて管理している。買い物のご希望がある際にはご本人が使用出来る。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人からこれらのご希望が上がらない場合が殆どであるが、これらは希望があればいつでも使用可能である。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>朝を中心に、日中の掃除を毎日行う事で生活空間の掃除、清潔保持には気を配り、利用者様のストレスの元にならないように配慮している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者同士の関連性を把握し、自由にすごしていただく事ができるように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人の慣れた家具や、場合に寄ってはご位牌を持ち込まれている方もおられる。また、居室内の環境にも気を使い、定期的に寝具の洗濯等も行っている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>はり紙や表札の掲示を行い、場所のお知らせしている。段差は殆ど無く、ホール内、トイレ、浴室等には手すりの設置を行う事で安全性にも配慮している。</p>		

## Ⅴ アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない